

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月8日

上場会社名 株式会社 クエスト

上場取引所 大

コード番号 2332 URL <http://www.quest.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 和朗

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 山越 千秋

TEL 03-3453-1181

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	3,297	7.7	96	△0.8	114	1.1	70	28.3
23年3月期第2四半期	3,062	△0.3	97	124.7	113	132.0	54	61.3

(注)包括利益 24年3月期第2四半期 69百万円 (30.0%) 23年3月期第2四半期 53百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	13.35	—
23年3月期第2四半期	10.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	4,585	3,628	79.1	687.03
23年3月期	4,677	3,718	79.5	703.92

(参考)自己資本 24年3月期第2四半期 3,628百万円 23年3月期 3,718百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,700	5.8	294	16.5	300	6.4	170	12.3	32.19

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	5,487,768 株	23年3月期	5,487,768 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	205,978 株	23年3月期	205,877 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	5,281,809 株	23年3月期2Q	5,282,076 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は平成23年11月15日(火)に証券アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後のサプライチェーン復旧による生産の持ち直し等、製造業を中心に回復傾向も見られますが、ユーロ圏の一部国家の財政問題と米国の景気低迷に起因する円高の進行と株価の下落により、先行きの不透明な状況が続いております。

当社グループ（当社および連結子会社）の属する情報サービス業界においては、経済産業省の「特定サービス産業動態統計調査 2011年8月分 確報」の情報サービス産業の項（抜粋）によると、8月の売上高は、前年同月比2.3%の減少となっています。6月については横ばいと調査報告でしたが、27カ月間続けての減少傾向であり情報サービス産業は依然として厳しい経営環境に置かれております。

こうした中、当社グループは平成23年度からの3カ年中期経営計画「ソリューション型事業モデルへの転換と新規顧客開拓」を策定しており、初年度としては、

(a) 新たなITトレンド、顧客のニーズを捉えた以下のソリューションモデルの強化・拡張に取り組む

- タブレット端末と業務用アプリケーションをセキュアに統合した「タブレット端末ソリューション」
- 企業システムのパッケージ化のトレンドを捉えた「組み立て製造業向けERPソリューション」
- 企業共通のアプリケーションを幅広い顧客に展開する「クラウド（SaaS）型ソリューション」

(b) 当社の安定的収益源であるシステム保守・運用サービスにおいて、「成果の見える化」と「当社独自の標準モデル作り」に取り組むことで、一層の高度化を追求する

を掲げ、安定的収益源を確保しながら、成長源となるソリューション型事業を確実に創造することで、成長サイクルの確立を目指し、計画達成に向けて邁進しております。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績の概況は以下のとおりです。

売上高については、第1四半期に引き続き当社主要顧客グループからの受注が好調だったことにより、前年同期比7.7%増の32億97百万円となりました。

利益については、営業利益は前年同期比0.8%減の96百万円、経常利益は前年同期比1.1%増の1億14百万円となり、ほぼ横ばいとなりました。四半期純利益は、前期あった特別損失が今期は発生しなかったため、前年同期比28.3%増の70百万円となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

システム開発事業については、大手半導体メーカーグループ顧客からの受注が好調なこと、大手電気メーカーグループ各社からの引き合い増、ERP構築案件の伸長などにより売上高は前年同期比11.1%増の16億61百万円、セグメント利益はERPソリューション立ち上げによる外注費・減価償却費が増加したため前年同期比32.9%減の1億70百万円となりました。

インフラサービス事業については、第1四半期に引き続き既存顧客のデータセンターサービスやセレクトティブアウトソーシングサービスの拡大による受注増、電力系企業からの受注増により売上高は前年同期比6.3%増の14億45百万円、セグメント利益は前年同期比27.9%増の2億75百万円となりました。

その他の事業については、売上高は前年同期比8.0%減の1億90百万円、セグメント利益は前年同期比10.5%増の20百万円となりました。

(注) その他の事業には、受託計算サービス事業、データエントリー事業及び商品販売事業を含んでおります。

※ERPとは、Enterprise Resource Planning（企業資源計画）の略語で、資源の有効活用という観点から企業を統合的に管理して効率的な経営を行なっていく経営手法、およびそれを実現するための情報システムを指します。情報システムとしてのERPは、具体的には、会計・財務・原価・販売・物流・購買など企業の基幹業務を広くカバーする統合業務パッケージのことです。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

1) 資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は45億85百万円となり、前連結会計年度末に比べ91百万円減少しました。これは主に売掛金が59百万円減少したことによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は9億56百万円となり、前連結会計年度末に比べ2百万円減少しました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は36億28百万円となり、前連結会計年度末に比べ89百万円減少しました。これは主に配当金の支払い等で利益剰余金が87百万円減少したことによるものです。

2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の四半期末残高は14億10百万円となり、前年同四半期末と比較し1億33百万円増加いたしました。

当第2四半期連結累計期間と前年同四半期とを比較した各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、当第2四半期連結累計期間に得た資金は1億17百万円（前年同四半期は1億64百万円の収入）となり、前年同四半期と比較し47百万円収入が減少しました。これは主にたな卸資産の増減額が同四半期と比較し46百万円増加したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、当第2四半期連結累計期間に得た資金は43百万円（前年同四半期は1百万円の使用）となり、前年同四半期と比較し、44百万円収入が増加しました。これは主に保険積立金の払戻による収入が76百万円発生したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、当第2四半期連結累計期間に使用した資金は1億58百万円（前年同四半期は1億58百万円の使用）となり、前年同四半期と同じになりました。これは主に配当金の支払額が前年とほぼ同じだったことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月13日に公表いたしました通期連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,426,477	1,427,624
売掛金	968,101	909,072
有価証券	1,001,015	800,230
仕掛品	36,150	77,211
その他	229,232	229,732
貸倒引当金	△65	—
流動資産合計	3,660,912	3,443,872
固定資産		
有形固定資産		
建物	127,977	129,468
減価償却累計額	△51,437	△52,993
建物(純額)	76,540	76,474
土地	69,864	69,864
その他	111,256	112,801
減価償却累計額	△97,400	△95,446
その他(純額)	13,855	17,354
有形固定資産合計	160,260	163,694
無形固定資産		
のれん	33,050	25,500
その他	117,672	100,511
無形固定資産合計	150,722	126,011
投資その他の資産		
投資有価証券	411,944	613,654
その他	293,344	238,450
投資その他の資産合計	705,288	852,105
固定資産合計	1,016,271	1,141,811
資産合計	4,677,183	4,585,683
負債の部		
流動負債		
買掛金	157,759	163,093
未払法人税等	92,424	51,139
賞与引当金	244,178	256,161
プロジェクト損失引当金	3,778	—
その他	203,201	209,714
流動負債合計	701,342	680,108
固定負債		
退職給付引当金	146,686	169,324
役員退職慰労引当金	111,125	107,525
固定負債合計	257,812	276,850
負債合計	959,154	956,959

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年 3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年 9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	491,031	491,031
資本剰余金	499,676	499,676
利益剰余金	2,878,401	2,790,477
自己株式	△149,563	△149,632
株主資本合計	3,719,545	3,631,552
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△254	△973
為替換算調整勘定	△1,262	△1,853
その他の包括利益累計額合計	△1,516	△2,827
純資産合計	3,718,029	3,628,724
負債純資産合計	4,677,183	4,585,683

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	3,062,905	3,297,995
売上原価	2,565,267	2,792,856
売上総利益	497,638	505,139
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	110,182	105,401
役員報酬	81,202	84,572
賞与引当金繰入額	18,871	20,899
退職給付費用	11,345	8,334
役員退職慰労引当金繰入額	1,600	2,000
その他	176,862	187,109
販売費及び一般管理費合計	400,065	408,317
営業利益	97,572	96,821
営業外収益		
受取利息	14,449	13,396
その他	3,314	4,210
営業外収益合計	17,764	17,607
営業外費用		
投資有価証券評価損	1,298	—
為替差損	301	115
固定資産売却損	650	—
その他	9	25
営業外費用合計	2,259	141
経常利益	113,077	114,287
特別損失		
減損損失	2,666	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	8,362	—
特別損失合計	11,028	—
税金等調整前四半期純利益	102,048	114,287
法人税、住民税及び事業税	33,984	50,789
法人税等調整額	13,069	△7,034
法人税等合計	47,053	43,754
少数株主損益調整前四半期純利益	54,995	70,532
四半期純利益	54,995	70,532

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	54,995	70,532
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,386	△719
為替換算調整勘定	△346	△591
その他の包括利益合計	△1,732	△1,311
四半期包括利益	53,263	69,221
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	53,263	69,221

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	102,048	114,287
減価償却費	16,984	32,933
のれん償却額	10,000	7,550
引当金の増減額 (△は減少)	15,115	27,176
受取利息及び受取配当金	△14,692	△13,521
投資有価証券評価損益 (△は益)	1,298	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	8,362	—
売上債権の増減額 (△は増加)	10,478	59,028
たな卸資産の増減額 (△は増加)	5,124	△41,061
仕入債務の増減額 (△は減少)	6,333	5,333
その他	1,175	12,576
小計	162,229	204,303
利息及び配当金の受取額	14,246	12,538
法人税等の支払額	△12,047	△99,824
営業活動によるキャッシュ・フロー	164,428	117,017
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△200,000	△100,295
有価証券の償還による収入	300,000	400,000
有形固定資産の取得による支出	△2,708	△8,360
有形固定資産の売却による収入	23,000	—
無形固定資産の取得による支出	△21,632	△10,755
保険積立金の払戻による収入	—	76,382
保険積立金の積立による支出	—	△14,000
投資有価証券の取得による支出	△100,000	△302,601
その他	50	2,925
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,290	43,296
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△238	△70
配当金の支払額	△157,974	△158,515
財務活動によるキャッシュ・フロー	△158,213	△158,585
現金及び現金同等物に係る換算差額	△346	△591
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,577	1,136
現金及び現金同等物の期首残高	1,272,239	1,409,180
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,276,817	1,410,316

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。
- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。
- (6) 重要な後発事象
該当事項はありません。